

憲法施行 70 年の憲法記念日に寄せて

今日、私たちは日本国憲法施行 70 年を迎えました。日本国憲法のもとにあって、一発の弾丸も撃たず、一人の戦死者も出さなかった歳月です。この 70 年間は一つの国をも侵略せず、戦争をすることなく、世界で最も平和で安定した国家を築き、日本として世界に誇るべき時代を日本国憲法と共に歩んできた日々なのです。

しかし、安倍総理は、先般の施政方針演説で、「次の 70 年を見据えて憲法を改正して、新しい未来を作ろう」と言っています。安倍総理の考える理想の未来は、戦後 70 年を捨て去り、戦前の日本に戻るが如くです。

戦前の 70 年間は、中国や東南アジアなど 15 回の海外への軍事出兵、日清、日露、第一次世界戦争、日中、そして太平洋戦争と 5 回の戦争が行われたのです。戦争を遂行するために、教育勅語をベースに「国家のためにいつでも死ぬこと」のできる人材を育成する教育を行い、戦争に反対する人には、治安維持法の下で弾圧した時代だったのです。

安倍政権は教育基本法を改悪し、国家安全保障会議を設け、特定秘密保護法を制定し、そしていま「共謀罪」を強行しようとし、盗聴や密告を奨励しているのです。また、集団的自衛権の行使をはじめ、海外への自衛隊の進出を進めようとしているのです。

戦後日本は、日本国憲法第 9 条の下で海外の紛争に軍事介入しない、他国の戦争に参加しないことを原則に平和国家として世界に貢献してきました。世界に誇れる日本国憲法第 9 条です。今こそ、日本国憲法第 9 条の平和主義が世界の目標とならなければいけません。

また、日本国憲法はこの 70 年間、私たち生活の中に深く定着してきており、憲法が私たちの生活の障害になったことは、全くありません。

私たちは、憲法と平和を守ることこそ、将来にわたって日本が進んでいく道であると確信いたします。

2017 年 5 月 3 日

立憲フォーラム
代表 近藤昭一